

公益財団法人痛風財団
平成27年度事業報告書

I. 概況

慢性腎臓病や心血管疾患との関係が明らかになっている痛風・高尿酸血症について世界トップレベルにある我が国の研究は、国民の健康維持に大きく貢献して居りが、一方痛風・高尿酸血症患者は依然として増加傾向にあり、研究者への支援助成や診療に当たる医師を対象とした研修及び一般への啓発活動を目的とする当財団の活動は更にその役割を増して居る。平成27年度の財団事業は以下の如く研究助成事業をはじめ各事業とも期首計画通りに遂行され、一方事業を支える財政面では、各方面からの寄付や賛助会費及び資産の運用益により今期総合収支はほぼ順調に推移した。

II. 事業の概要

1. 研究助成事業

平成27年度の研究助成は下記3部門を対象として総額700万円の助成を行った。

- ① 痛風・高尿酸血症に関する臨床的色彩の濃い研究を対象とした「鳥居痛風学術賞」
- ② 痛風・高尿酸血症の関する基礎的色彩の濃い研究を対象とした「田辺三菱賞」
- ③ 痛風・高尿酸血症に関する一般的研究を対象とした「研究助成」

助成申請は「鳥居痛風学術賞」「田辺三菱賞」「研究助成」の3部門へ募集を行い、全国医学系大学82校や関係研究機関などに対して応募要項送付し、また財団ホームページや医学関係新聞雑誌でも公表して平成27年9月1日から10月31日まで応募を受け付けた。この結果平成27年度の応募総数は29件であった。

選考は理事長以下理事長より専門分野を考慮して委嘱された下記9名の選考委員が応募書類を事前に審査し、その結果を参考として平成27年12月9日開催の選考委員会で審議された。

鎌谷 直之	痛風財団理事長・ステージン情報解析研究所所長
板倉 光夫	徳島大学名誉教授・東都春日部病院
上田 孝典	福井大学理事・副学長
小笠原 信明	愛知県心身障害者コロニー名誉総長
谷口 敦夫	東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター教授
藤森 新	帝京大学医学部内科教授
細谷 龍男	東京慈恵会医科大学慢性腎臓病病態治療学教授
森崎 隆幸	国立循環器病センター研究所分子生物学部長
山本 徹也	兵庫医科大学名誉教授

審議の結果、平成27年度研究助成対象者は以下の通り決定した。

- ① 鳥居痛風学術賞 1名 助成金額100万円
栗山 哲（東京慈恵会医科大学腎臓高血圧内科客員教授）
研究テーマ：高尿酸血症は高血圧と慢性腎臓病の初期発症因子なのか？

- ② 田辺三菱賞 1名 助成金額100万円
久留 一郎（鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座（再生医療学部門）教授）
研究テーマ：細胞内尿酸による翻訳後修飾を介する臓器リモデリングの機序解明と高尿酸血症による臓器障害の新規治療法開発

- ③ 研究助成 13名 助成総額500万円
 1. 山内 高弘（福井大学医学部内科学（1）血液・腫瘍内科教授）
研究テーマ：新規抗腫瘍性ヌクレオシドアナログ、ベンダムスチンの作用機序の解明と耐性の克服（継続）
 2. 細山田 真（帝京大学薬学部人体機能形態学研究室教授）
研究テーマ：ウロモジュリン発現陽性太いヘンレの上行脚細胞株の樹立
 3. 安西 尚彦（獨協医科大学医学部薬理学講座主任教授）
研究テーマ：モノカルボン酸トランスポーターMCT9による尿酸輸送特性の解明
 4. 岡本 研（日本医科大学生化学・分子生物学（代謝栄養）准教授）
研究テーマ：キサンチン酸化還元酵素における基質、阻害剤結合過程の動的解析
 5. 荻野 和秀（鳥取大学医学部附属病院検査部准教授）
研究テーマ：左室拡張障害に対するキサンチンオキシダーゼ阻害の効果
－ キサンチンオキシダーゼ活性と酸化ストレスの関与 －
 6. 高田 龍平（東京大学医学部附属病院薬剤部講師/第一副部長）
研究テーマ：尿酸降下薬が尿酸トランスポーターに与える影響に関する研究
 7. 松尾 洋孝（防衛医科大学校分子生体制御学講座講師）
研究テーマ：痛風のゲノムワイド関連解析と遺伝要因の全容解明に向けた研究（継続研究）

8. 山下 浩平（京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学准教授）
研究テーマ：高尿酸血症による慢性血管炎症に対する好中球とマクロファージの相互作用の検討
9. 富岡 直子（帝京大学薬学部人体機能形態学研究室助教）
研究テーマ：高尿酸血症を呈するアルツハイマー病モデルマウスの樹立
10. 齋藤 達哉（徳島大学疾患酵素学研究センターシグナル伝達と糖尿病研究部門教授）
研究テーマ：尿酸塩結晶により惹起される痛風性関節炎に対する治療薬の開発
11. 内田 俊也（帝京大学医学部内科学講座教授）
研究テーマ：抗利尿ホルモン不適合分泌症候群における低尿酸血症の発症機序の解明
12. 金井 好克（大阪大学大学院医学系研究科薬理学講座生体システム薬理学教室教授）
研究テーマ：糖尿病における輸送体変動解析による尿酸値変動機序の解明
13. 山岡 法子（帝京大学薬学部臨床分析学研究室准教授）
研究テーマ：生薬・漢方薬におけるプリン代謝に及ぼす影響について

2. 研修会開催・痛風協力医療機関推薦事業

① 第26回医師対象痛風研修会

全国の医師・薬剤師・栄養士など医療関係者を対象に、今年度で26回目を迎えた痛風研修会を平成27年9月13日（日）東京慈恵会医科大学講堂で開催した。

痛風協力医療機関などへの案内状やインターネット等を通じて聴講者を募り、一般開業医をはじめ医療関係者約200名の参加を得て高尿酸血症の診断及び治療の方法や最新の研究成果についての講義と活発な質疑応答が行われた。研修プログラムと講師は下記の通り。

★第1部 講演

1. 痛風・高尿酸血症関連遺伝子を見つける方法
鎌谷 直之（痛風財団理事長）
2. トランスポーターを臨床の現場へ
安西 尚彦（獨協医科大学医学部薬理学講座主任教授）

★ランチョンセミナー

高尿酸血症・治療の新しい展開

細谷 龍男 (東京慈恵会医科大学名誉教授慢性腎臓病態
治療学教授)

★第2部 講演

1. 痛風発作とまぎらしい疾患(回帰性リウマチなど)との鑑別と
そのポイント
谷口 敦夫 (東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センタ
ー教授)
2. 高尿酸血症に起因する腎障害の病態とその鑑別・治療
内田 俊也 (帝京大学医学部内科教授)
3. 臨床で低尿酸血症をみたら(原因、鑑別、治療)
藏城 雅文 (兵庫医科大学糖尿病内分泌代謝科講師)

★第3部 質疑応答

回答者

- 藤森 新 先生 (帝京大学医学部内科教授)
嶺尾 郁夫 先生 (市立豊中病院糖尿病センター部長)
箱田 雅之 先生 (安田女子大学家政学部管理栄養科教授)

尚、平成28年度第27回痛風研修会は10月2日(日)に東京慈
恵会医科大学で開催の予定である。

② 痛風協力医療機関推薦

痛風研修会参加の一般医師などに呼びかけ、新たに3機関を推薦
した。

この結果、平成28年3月末現在の痛風協力医療機関は全国で合計
137機関となった。

新規推薦医療機関は下記の通り。

(A) 新規推薦

1. 福和クリニック(福嶋 康之 先生)
東京都中央区日本橋3-3-11
TEL 03-6262-3751
2. 彩の国東大宮メディカルセンター(高木 賢治 先生)
埼玉県さいたま市北区土呂町1522
TEL 048-665-6111
3. 市立札幌病院(片岡 浩 先生)
北海道札幌市中央区北11条西13丁目1-1
TEL 011-726-2211

3. 啓発事業

① インターネットによる啓発

ホームページへのアクセス数は例年通り 30 万件を超え、患者や家族のみならず広く一般関係者に対しても有効な情報伝達手段として定着したと思われる。この為、その内容も更に充実すべく適宜更新しながら痛風・高尿酸血症についての知識や診療機関の情報を掲載して一般各位の便宜に供して居る。

② 一般からの質問への対応

一般患者や家族などからのメールや電話での質問も連日寄せられた。内容は診療機関の紹介依頼が最も多く、その他は発作時の対処方法や食事に関する事などで、これ等の質問に対しては都度財団関係の専門医師等に問い合わせその回答内容を伝えている。

③ 市民公開講座協力

平成28年2月19日（金）に大阪千里ライフサイエンスセンターに於いて、日本痛風・核酸代謝学会や製薬会社に協力して痛風に関する市民公開講座を開催。一般参加者約150名であった。

④ 小冊子及び会報による啓発

小冊子「痛風を発症しないために尿酸値を下げる生活」を発行し、全国の協力医療機関等を通じて一般に配布すると共に、平成27年8月と平成28年1月に会報を発行した。

8月発行の第81号は平成26年度研究助成鳥居痛風学術賞受賞の獨協医科大学医学部薬理学講座准教授の大内基司先生の「痛風財団 鳥居痛風学術賞を受賞して」と、同じく田辺三菱賞受賞の東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科疾患多様性遺伝子学分野テニユアトラック講師の岡田随象先生の「大規模ヒトゲノム解析を通じた高尿酸血症関連遺伝子の同定」と題する研究の背景やその後の進展状況などに関する一文を掲載し1月の第82号には財団役員各位からの寄稿文を掲載した。

以上